



富士

富士山かぐや姫ミュージアム



「富士山麓案内図」  
昭和30年頃

令和4年  
10.8(土)~11.27(日)



巡回展

三島

三島市郷土資料館



「東海道五十三次之内 三島 朝霧」  
天保4~5年頃

令和4年  
7.16(土)~10.2(日)

このへん道中

富士・沼津・三島の観光

沼津

沼津市明治史料館



原画番号 (原画番号) BEACH OF SENKOSHAMA SUMAZU  
(The Beach named moon in Senzaki).  
絵はがき「沼津名勝 千本浜海岸」  
昭和初期

令和4年 令和5年  
12.10(土)~1.29(日)

いまむかし

本企画展では「この辺」(富士・沼津・三島)の観光の歴史を紹介します。観光のかたちは時代とともに変化し、新たな名所や名物が次々と生みだされてきました。昔から今へ、今から未来へと織り重なっていく地域の魅力をご覧ください。

ギャラリートークを開催します  
毎月第2土曜日 開催館にて  
ギャラリートークを開催!  
詳細は各館まで  
お問い合わせ  
ください。

富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会

富士山かぐや姫ミュージアム  
富士市伝法66-2 TEL 0545-21-3380

沼津市明治史料館  
沼津市西熊堂372-1 TEL 055-923-3335

沼津市歴史民俗資料館  
沼津市下香貫島郷2802-1 TEL 055-932-6266

戸田造船郷土資料博物館  
沼津市戸田2710-1 TEL 0558-94-2384

三島市郷土資料館  
三島市一番町19-3(楽寿園内) TEL 055-971-8228

寄り道クイズに挑戦しよう!!  
各館でクイズシートをもらったら展示  
を見ながら答えを探そう! 参加者全  
員にオリジナル賞品をプレゼント!!  
※賞品がなくなり次第終了。  
賞品は三館共通です。



▲富士



▲沼津



▲三島

# このへん道中すごろく



ふりだし

三島



楽寿園



自然・動物・乗り物も！  
みんなで楽しもう！！  
1回休み

明治時代の皇族の元別邸である楽寿園は、昭和27年(1952)年に開園しました。市立公園でありながら動物園、遊園地も兼ね備えた観光施設です。

接待茶屋



絵はがき「箱根山頂上接待茶屋」(大正時代)

箱根越えはやっぱりきつい  
接待茶屋で一休み  
1回休み

江戸時代後期、行きかう人や馬の無料休憩所としてつくられました。昭和45年(1970)まで人々に無料で休養の場を提供し、その名残はバス停の名前にみることが出来ます。



あがり

富士

富士登山の安全祈願  
1回休み

鈴川の富士塚



絵はがき「田子の浦 天の香久山の富士」(明治期)

江戸時代、富士登山者は海水で身を清め、拾った浜石をここに置いて登山の安全を祈ったとされています。



柏原のうなぎ

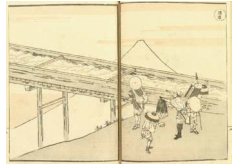


「五十三次 吉原 富士の沿」(江戸時代後期)

鰻を食べて元氣モリモリ  
1マスをすすむ

江戸時代、広大な浮島沼では漁が盛んで、間の宿・柏原では鰻の蒲焼きが名物でした。その様子は『東海道中膝栗毛』でも描かれました。

千貫樋



北原為「道中画譜」(天保6年)

「」を画かれたのは駿河の国  
1マスをすすむ

伊豆と駿河の国境である境川の上に架けられた水路です。江戸時代には三嶋大社と共に描かれる旅の名所でした。

タカアシガニ



タカアシガニは製

底曳網をお手伝い  
1回休み

近年の深海魚ブームで一躍人気になったタカアシガニは世界最大の甲殻類です。戸田では底曳網で漁獲し、蒸して食されます。

沼津

水族館と観光船



絵はがき「沼津八景 三津水族館と龍宮丸」(昭和初期)

龍宮丸でスイスイ  
2マスをすすむ

昭和5年(1930)、三津(みと)に中之島水族館が開園します。その後2度名前を変え、現在は伊豆三津シーパラダイスになりました。手前の船はかつて内浦湾内を航行した観光船・龍宮丸です。

駅弁の包紙



桃中軒上等お弁当包紙 (昭和初期)

旅のお供  
おいしいお弁当を食べて  
1回休み

明治24年(1891)旧幕臣の宇野三千三は沼津駅で駅弁の販売を始めました。これが現在の桃中軒(とうちゅうけん)です。汽車の停車時間が長かった沼津駅では駅弁がよく売れました。

江戸時代のボードゲーム  
道中すごろく をやってみよう！

江戸時代、移動が厳しく制限されていた庶民にとって、旅行は高嶺の花でした。行ったつもりで楽しむ旅もまた一興。すごろくで旅気分を味わってみよう！！



富士山の  
かぐや姫伝説



「書画五拾二駅 駿河原景 竹取」(明治5年)

富士の女神に会いに行こう  
1マスをすすむ

比奈・原田地区では、月ではなく富士山に帰り富士山の神様となったかぐや姫の伝説が伝わっています。

